

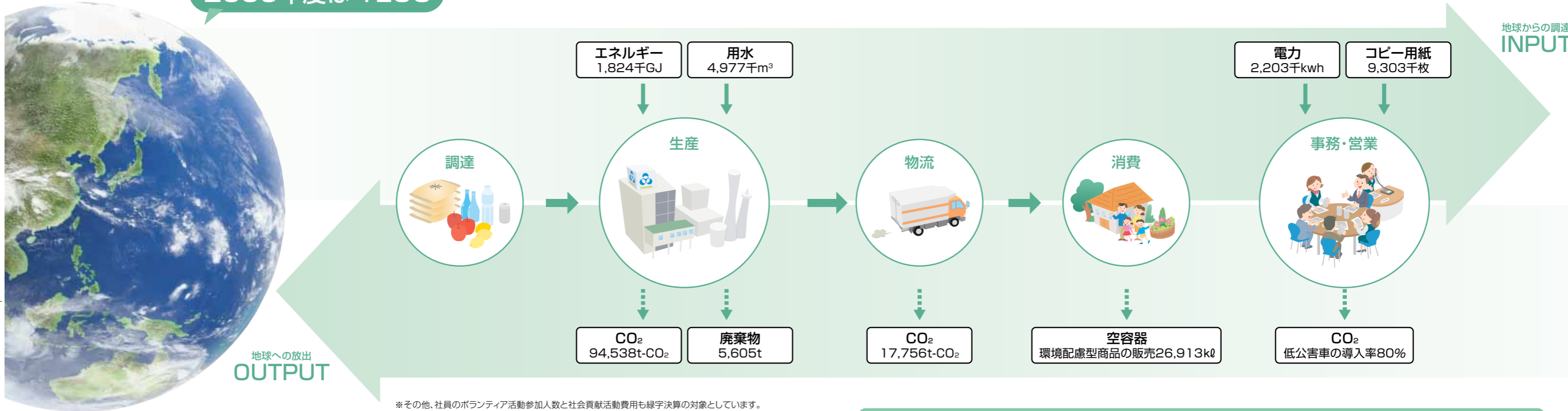
地球の「いきいき」のために

緑字決算を公表します

宝酒造では、事業活動は基本的に地球環境に負荷を与える行為であることを真摯に受け止め、地球環境への負荷軽減や自然保護活動、ボランティアなどの社会貢献活動を、企業としての責務と考えています。これらの活動成果を「緑字決算 (ECO)」という形で表現し、公表しています。



2006年度は-1ECO



※その他、社員のボランティア活動参加人数と社会貢献活動費用も緑字決算の対象としています。

2006年度の緑字決算結果は、-1ECOです

2007年度までの目標 +4ECO 達成には、生産関係の改善が課題です。

2006年度の緑字決算は、基準年(2004年度)にくらべ生産量が5.3%増えたことに加え、生産に必要なエネルギーが多い製品や廃棄物が多く発生する製品の構成比が高まり、また鮮度追求による多頻度小ロット生産によって生産効

率が低下したため、生産関係はすべてマイナスECOとなりましたが、物流部門CO₂削減、低公害車の導入や社会貢献などプラスECOとあわせると全体では-1ECOとなりました。(参考:2005年度緑字は0ECOでした。)

緑字とは

経済活動の成果を一般的に「黒字」「赤字」と表現することから、環境活動の成果を表現する言葉は何字だろう?と考えた時、環境=緑のイメージから1998年に「緑字」という言葉が生まれました。そして、今後は環境活動にとどまらず、「お客様、お取引先、社員、社会、地球など、皆様にとってやさしい企業」へ向けての活動の指標にしたいと考えています。

緑字決算とは

「緑字決算」とは、宝酒造のさまざまな環境負荷や環境配慮、社会活動の中から重要な項目を選定し、その改善度を「ECO (エコ)」という一つの指標で表したものです。一つの指標で表現するのは、単位や重要度の異なる活動の成果が、結果的に良かったのか悪かったのかということを誰にでもわかりやすく理解していただくためです。

緑字決算の算出方法

緑字決算の対象となる11項目は、それぞれ単位が違うため、単純にたし算することができません。そこで、各項目の改善率に「重み付け係数」を掛けた「個別ECO」を平均して、緑字決算 (ECO) を算出します。改善された場合は「プラスECO」、その逆は「マイナスECO」で表します。重み付け係数とは、各項目について「宝酒造が取り組むべき重要度」という観点で、有識者5名、宝酒造環境担当者5名、インターネット上で市民137名が行った5段階評価を係数化したものです。

4: 緑字決算対象項目選定と重み付け投票詳細

$$\text{個別ECO} = \text{各項目ごとの改善率} \times \text{重み付け係数}$$

	生産				物流	オフィス		販売	社会		
	エネルギー使用量	水使用量	CO ₂ 排出量	廃棄物排出量	CO ₂ 排出量	電力使用量	コピー用紙使用量	営業車の低公害車導入率	環境配慮型商品販売量	社員のボランティア活動参加人数	社会貢献活動費用
(単位)	千GJ	千m ³	t-CO ₂	t	t-CO ₂	千kwh	千枚	%	kℓ	人	百万円
2006年度	1,824	4,977	94,538	5,605	17,756	2,203	9,303	80	26,913	595	105
2004年度	1,475	4,332	83,235	4,338	19,929	2,326	9,593	44	34,165	395	97
A)改善率 (%)	-23.7	-14.9	-13.6	-29.2	10.9	5.3	3.0	21.0	-21.2	50.6	8.5
B)5段階評価	3	3	5	3	4	3	2	4	4	3	3
C)重み付け係数	0.89	0.89	1.49	0.89	1.19	0.89	0.60	1.19	1.19	0.89	0.89
A)×C)個別ECO	-21.1	-13.3	-20.2	-26.1	13.0	4.7	1.8	25.0	-25.3	45.2	7.6

2006年度
緑字決算 (ECO)

-1

重み付け係数 = $\frac{\text{各項目の5段階評価}}{11 \text{項目の5段階評価の平均}}$

緑字決算 (ECO) = $\frac{\sum \text{個別ECO}}{11}$

5: 環境データ算出方法

6: 過去の緑字決算結果